

平成 16 年 1 月 19 日

各 位

会社名	F D K 株式会社
代表者名	代表取締役社長 鈴木 惟司
(コード番号)	6955 東証第一部)
問合せ先	財務経理部長 川崎 健司 (TEL 03-3434-1271)

**第三者割当増資（普通株式および優先株式の発行）親会社および主要株主の異動
ならびに今後の事業構造改革について**

当社は、本日開催の取締役会において、平成 16 年 3 月 12 日に臨時株主総会を開催することとし、第三者割当増資による普通株式の発行、定款の変更について下記のとおり付議することを決議いたしました。

また、本日オークツリー・キャピタル・マネジメント・エルエルシー（以下、「OCM」という。）との間で、OCM 運営のファンドが 100%所有する特定目的会社（以下、「OCM ファンド」という。）を割当先とする第三者割当増資による普通株式の発行について基本合意いたしました。本件普通株式の発行に伴い、当社の親会社および主要株主の異動が生じる予定です。

また、親会社である富士通株式会社を割当先とする第三者割当増資による優先株式の発行についても基本合意いたしましたので、お知らせいたします。

更に、現在進めております事業構造改革について併せてお知らせいたします。

記

1. 経緯及び目的

当社は、市場環境の変化に対応すべく、国内外にわたる抜本的な事業構造改革を押し進めております。しかしその過程において、前年度までに計上した損失、および現在進めている改革のための施策に伴う特別損失により、自己資本に毀損が生じており、その回復を図ることが緊急の経営課題となっております。この度、財務体質の強化及び更なる事業構造改革の実行を目的として、OCM との間で、第三者割当増資による普通株式の発行に関して基本合意するとともに親会社である富士通株式会社との間で、第三者割当増資による優先株式の発行に関して基本合意いたしましたので、本件の実行に必要な以下の内容を臨時株主総会に付議いたします。

(1) 第三者割当増資による普通株式の発行

発行新株式数の上限 普通株式 45,000,000 株

発行価額 1 株につき 180 円

発行価額の決定方法

発行価額は、OCM との協議のうえ、決定いたしました。

発行価額の総額の上限 8,100,000,000 円

資本組入額 1 株につき 90 円

資本組入の総額の上限 4,050,000,000 円

割当先及び割当株式数（予定）

OCM ファンド 45,000,000 株

第三者割当増資の実施条件

前記各号については、証券取引法による届出の効力発生ならびに平成 16 年 3 月 12 日開催予定の臨時株主総会での特別決議による承認を条件といたします。

日程概要

臨時株主総会開催日	平成 16 年 3 月 12 日
新株発行取締役会決議日	平成 16 年 3 月 12 日
新株発行申込期日	平成 16 年 3 月下旬
新株発行払込期日	平成 16 年 3 月下旬
新株効力発生日	払込期日の翌日

(2) 定款の変更について

授権株式数の拡大

現在 120,000,000 株を 200,000,000 株に拡大

種類株式について

内容 優先株式

議決権： 無し

転換予約権： 有り

授権株式数： 30,000,000 株

2. 親会社および主要株主の異動について

OCM ファンドへの第三者割当増資による普通株式の発行後、見込まれる当社の親会社および主要株主の異動は、以下のとおりです。

	異動前	第三者割当増資後(予定)	大株主順位
富士通株式会社	50,667,080 株 (61.52%)	50,667,080 株 (39.78%)	第 1 位
OCM ファンド	0 株 (0.00%)	45,000,000 株 (35.33%)	第 2 位

(注) 括弧内の数字は総株主の議決権の数に対する割合であり、平成 15 年 9 月 30 日現在における総株主の議決権 82,353 個を基に算出しております。

3. 優先株式の発行について

平成 16 年 3 月 12 日開催予定の臨時株主総会で、授権株式数および種類株式に関する定款変更が承認された後、富士通株式会社を割当先として 40 億円の優先株式を発行する予定です。

4. 現在進めている事業構造改革について

当社は、過去 2 事業年度にわたり、大幅な人員削減を含めた構造改革を進めてまいりました。その効果は着実に業績に反映されつつありますが、市場環境の変化等を踏まえ、今後確実に収益のあがる体質への改善を目的として、以下の構造改革を実施いたします。

不採算事業の光部品および高周波積層部品事業については、固定資産の減損処理などにより資産効率を高め、採算化を図ります。またフェライト事業については、当期末をめどに国内での生産を完全に終息し、中国での事業再編を行うことで、収益体質への改善を図ってまいります。

今後、素材から回路・高密度実装までの一貫した技術をもつ部品メーカーとしての特長を活かし、特に伸長著しいフラットディスプレイおよびネットワーク製品向けを中心に、ハイブリッドモジュールおよびパワーシステム事業に経営資源を集中することで事業基盤の強化を図ってまいります。また、生産革新運動の全社展開により、更なる合理化および徹底したコストダウンを追求してまいります。

このように当期に実行する不採算事業の改革と、当社の強みを活かし、成長分野に集中する経営体制の構築を推進することで、株主の皆様ならびに取引先の皆様のご期待に応えてまいります。

以 上

< 参考 >

OCM の概要

名称	オークツリー・キャピタル・マネジメント・エルエルシー
本店所在地	333 South Grand Avenue 28 th Floor Los Angeles, California 90071
代表者	Howard S. Marks
事業内容	オークツリー・キャピタル・マネジメント・エルエルシーは企業年金、公的年金、大学基金、保険会社等を主要顧客に持ち、また総運用資産約 3 兆円の投資運営会社であります。
当社との関係	該当事項はありません

(注意事項)

上記に記載した内容は、現時点の状況に基づいておりますが、多分に不確定な要素を含んでおります。従って、状況の変化等により、この資料に記載されている内容は変更される場合がありますことをご承知ください。

本リリースは、証券取引法 166 条に定められた「重要事実」に該当する情報を含んでおります。本リリースをご覧になられた場合は、インサイダー取引規制に関する「第一次情報受領者」となり、公開後 1 2 時間以内 (日本時間 2 0 0 4 年 1 月 2 0 日、午前 3 時頃まで) に当社株式の売買等を行うことは禁止されますのでご注意ください。